立憲民主党 立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-12-4
ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302

2020.11.24 号外
立憲民主 RIKKEN MINSHU

なんの
南野けいすけ議会報告
https://keisuke-nanno.com/　090-1911－4306
令和２年第２回定例会特集　発行日：2020年11月24日
ホームページ

第2回定例会（6月議会）・議事録より

令和2年6月に開催された、第2回定例会の議事録が公開されましたので要約して掲載いたします。

新型コロナウィルス感染症感染者の人権確保について

◆南野敬介議員
感染された方から人権被害に遭ったとか情報が入ったかどうか

◎都市政策部長
そういった情報につきましては入っていません。

◆南野敬介議員
これから貝塚市の住民の方が罹患しないという保証もありませんので、そういった場合に貝塚市として「こうしたスタンスであなたの人権を守ります、プライバシーを守ります」とを訴えるべきと思うのですが。

第2回定例会一般質問を行う
南　野　け　い　す　け　議　員

◎都市政策部長
いかなる場合においても、人権は尊重されるべきであると。
現在、市のHPにて、新型コロナウイルス感染症に関連した人権への配慮についての啓発に努めているところです。

◆南野敬介議員
看護師とか、病院とか、福祉施設などで勤めていらして、不安を抱えながら仕事をされているという方も沢山いると思います。
そういった方に対するフォローが必要で例えば法務省の人権窓口もあるが、市民にとって一番近くの窓口というのは市だと思います。
相談体制を確立する必要があるのではないかなと思うのですが。

◎都市政策部長
当然、相談等がございましたら適切に対応してまいります。ただ、その専門の相談窓口の設置につきましては、現在のところ考えていません。

◆南野敬介議員
市としては市民相談室もあり、人権擁護委員の人権相談もあり、定期的に行っているので、今後広報などでも伝えるべきだと思うのですが。

◎都市政策部長
各職場において、働き方という相談等がありましたら、啓発を考えていきたいと考えております。

◆南野敬介議員
そういった意味では、要所要所で出す藤原市長のメッセージの中で、コロナ禍で「差別することはよくないことですよ」ということや、「DVにつながることもありますよ」ということもメッセージとして一度触れていただければと思うのですが。

◎都市政策部長
今後新しい生活様式の中で市民が暮らす中でしんどいとかいうことがあるかと思いますので、藤原市長からのメッセージ等を出す場合につきましては、差別的な行為がないようにという文章も含めていきたい。

《定住外国人支援について》

◆南野敬介議員
2点目の定住外国人に対する支援ですが、滞在が長い短いことは関係なく、今後外国人の方に対する相談体制の充実、HPなどでも日本語でアップされていると思いますが、外国人の方に対する支援の伝え方は今どのようにされているのか。

◎都市政策部長
支援の周知につきましては、日本語で周知をしています。
特段、外国人の方の母国語での周知というのはやっていません。

◆南野敬介議員
多分相談があって一番多いのが中国、韓国、朝鮮、ベトナムとかいうところになってきていて、その母国語でやるというのは難しいとは思うのですが、例えば英語表記をすると

いうこと。

今後、新型コロナウイルスだけでなく地震だとか台風だとか大雨だとか被害が考えられます。そんな中で千人を超える外国の方が暮らしているこの貝塚市で、今回のことをきっかけに支援策はこうですよと考えてもいいのと思うのですが。

◎都市政策部長

当初の支援策の周知について日本語でやっているますが、相談等がありましたら、翻訳ソフトを使ったり、国で作成している多言語案内をお渡しして対応しています。

また、10万円の給付のときですが、多言語対応の携帯型翻訳機というのを購入し双方向で75国語に対応していて、しかも常にインターネットにつながってAIが対応して瞬時に翻訳される、かなり優秀な機器があるので、外国人の大本になっている支援策については、こちらからのフォローアップはできていると考えています。

今後の子育て世代や社会的弱者への支援策について

◆南野敬介議員

子どもにかかる負担は、一番収入の少ない若手、子育て世代層にとって、大きな問題。

これから「子育てしやすいまち貝塚市を目指す」というのであれば、子育て世代に何らかの施策を打たなければならないかなと思います。

今後の支援策は。

◎藤原龍男市長

民間の認定こども園・保育所、そしてつげさん広場等子育て施設について、一律50万円を貝塚市から寄附します。

それ以外に障害者の施設を回らせてもらい大変厳しい状況で頑張っておられるのが実際わかりました。

障害者施設への支援とか、三つの手帳を持っている方全てにご支援ができるのかと、社会的弱者についてどのような対応ができるのかを今、団体はじめ内部で協議をしています。

それと4月27日以前に生まれた人で、当時、おなかの中でおられて妊娠中の人についてもどういうような対応策があるのか、今内部で議論を重ねております。

◆南野敬介議員

最後に、よく考えたら、この貝塚市内、市民の足、通勤、移動の手段となっている水間鉄道があったと思うのです。

これだけ自粛要請だとか、家で仕事だとかとなったときに、水間鉄道が結構大変なことになるのではないかと思うのですが、水間鉄道の現状は大変厳しいと聞いていますし、支援も考えてはと思いますが。

◎副市長

水間鉄道のほうから逐次連携している状況でございます。

自粛制限もあるのですから、料金収入などもかなり厳しいというところでございます。

一方で、国土交通省からは今回の2兆円の地方創生臨時交付金も、公共交通の事業者に対しての支援も対応できるとお伺いしておりますので、水間鉄道に対しての支援策も含めたような形で調整をしているます。

議会報告ニュースのバックナンバー

https://keisuke-nanno.com/keisuke-news/

がん征圧・患者支援チャリティイベント

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2020泉州かいづか＠オンライン

～開催のお礼～

去る10月31日（土）から11月1日（日）に、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2020泉州かいづか＠オンラインが開催されました。

今年はコロナ禍の中で、例年のようにシェルシアターで集うことはできませんでしたが、24時間動画メッセージの配信を行いました。

また旅立たれた方々の想いをつなぐ「エンプティテーブルセレモニー」も開催することができました。

引き続き、がん征圧・患者支援のための取り組みを進めたいと思っています。

尚、ご寄付等いただきました皆様ありがとうございました。

イベント経費を差し引いて公益財団法人日本対がん協会に寄付いたします。

ブログ　貝塚市議南野 fadcebook　南野けいすけ fadcebook　ツイッター　インスタグラム　タイムライン　LINE@